様式第１号

手数料計算書

１．建築物概要

|  |  |
| --- | --- |
| 建築物の名称 |  |
| 建築物の位置 |  |

２．手数料計算

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 申請の区分 | 適合証等 | 評価方法 | 手数料金額 |
| 1 | 一戸建ての住宅 | □有・□無 | □ 性能基準 | 円 |
| □ 仕様基準 |
| 2 | 一戸建て住宅以外の住宅（共同住宅等・複合建築物） | 住戸部分 | 戸 | □有・□無 | □ 性能基準 | 円 |
| □ 仕様基準 |
| 3 | 住宅部分の共用部分 | ㎡ | □ 標準入力法 | 円 |
| 4 | 非住宅部分 | ㎡ | □ 標準入力法等 | 円 |
| □ モデル建物法 |
| 5 | その他の建築物（非住宅） | ㎡ | □有・□無 | □ 標準入力法 | 円 |
| □ モデル建物法 |
| ６ | 確認申請手数料（同時申請がある場合） | 円 |
| 手数料金額　計 | 円 |

（注意）

１．手数料計算

　①　焼津市都市の低炭素化の促進に関する法律の規定による低炭素建築物新築等計画の認定等に係る事務取扱要領第３に掲げる審査省略により手数料を減額することができる書類の添付の有無を「適合証等」のチェックボックスに、「✓」マークを入れてください。

　②　適合証等の無のチェックボックスに、「✓」マークを入れた場合にあっては、該当する「評価方法」のチェックボックスに、「✓」マークを入れてください。

　③　住宅部分の共用部分の面積については、申請から除外することは出来ません。

　④　住戸部分全体を仕様基準で評価する場合にのみ、当該評価方法の額を適用してください。

　⑤　非住宅部分全体をモデル建物法で評価する場合にのみ、当該評価方法の額を適用してください。